

スピーカー再生技術研究会2018 10月7日 発表資料

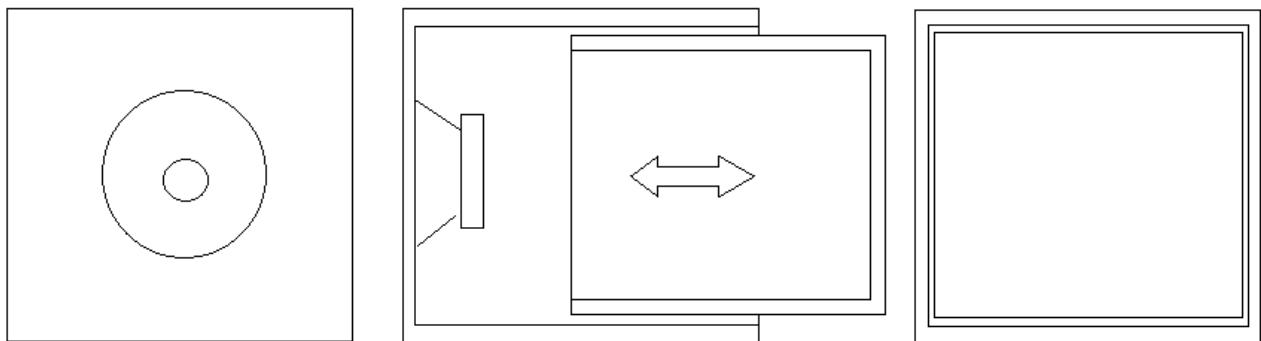
大沢博多

□ エンクロージャー テレスコ2

初期型プロトタイプ、テレスコに続く2号機です

テレスコの特徴は

1. 2重構造による容積可変
2. 4面スリットバスレフによる低音域再生能力増強
3. ユニットを正方形フロントバッフル中心とする、上下左右対称構造



内箱の前後移動で容積を可変し、ユニットの大きさ、空気室容積駆動能力に応じて調整します

同時にスリットの長さも逆に増減します スリットバスレフの共振点はあまり変化しません
スリットは1本より細くなるのでバスレフピークはブロードになり広範囲な低音域増強になります

ユニットドライバーを中心としすべてのスリットの位置、距離関係が同一で内部の空気振動も対称、短距離で癖が出にくくなります

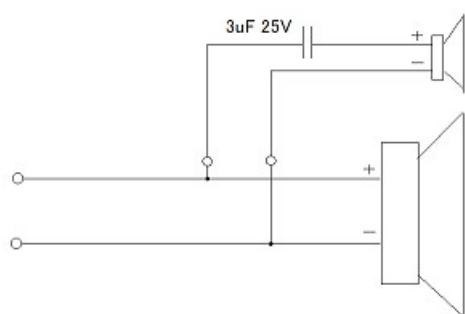
4面スリットは後方を向くので設置環境で低音再生を壁、床反射を利用し演奏会場の低音楽器に近い空間放出をします

今回の2号機はフロントサブバッフル式とし、バッフルごとユニット交換可能にしています

□ ジャンクウーハー使用の2 Way バッフル

フレームの曲がったGRSジャンク品を修理し、背面から引っ張り取り付けして空気漏れ対策実装しています ネットワークは無しでアンプ出力ダイレクトです

コーンツイーターは山水ジャンク品で $1\mu 25V$ 積層セラミックを3個、 $3\mu F$ でハイパスしています



□音場型バッフル

3インチフルレンジを4個づつ、分散配置して長岡鉄夫ヒドラ、松さんの阿修羅もどきの音場再現を目指します
狭い自室では確認調整がほとんどできません 今回中野ゼロが事実上初音出しになります 若干の角度調整を現場でやりたいと思います よろしくご意見お聞かせください

3点の製作過程、関連記事をブログに書いています

「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」 鈴木会長・加藤さんのブログからリンクあります

トピック 「テレスコ」「テレスコ調整」「Kenbeさん宅訪問」「テレスコ2の製作」

「ジャンクウーハーを買ってしまいました」「テレスコ用音場型バッフルの製作」

以上